

# 日本の法制度の問題点

先進諸国と言われている国の法制度から見ると、日本は著しく遅れています。主な問題点は以下のとおりです。



- ① 強かんは「暴行と脅迫」を用いた性交渉の強要になっているので「抵抗できないほどの暴力だったかどうか」が罪を立証するポイントとなる。この規定では女性に不利でありすぎるため、今日こんな規定を残している国は少数。
- ② 「性器挿入」のみが強かんであるので、男性に適用できない
- ③ 強かんは強盗より罰則が軽い。
- ④ 親告罪なので、被害者が訴える決意をしなければならない。
- ⑤ DVそのものが犯罪とされていない
- ⑥ セクシュアルハラスメントそのものが犯罪とされていない。
- ⑦ 被害者を支援する法律がない
- ⑧ 性暴力の緊急支援施設がない（レイプクライシスセンター）
- ⑨ 性暴力の予防教育は義務化されていない
- ⑩ レイプシールド法がない（裁判や警察での被害者保護に関する法律）
- ⑪ 女性警察官も少ない
- ⑫ 裁判員制度でプライバシーが守れない

**私たちは、こうした状況を変えるには、根本的な法整備が必要だと考えています。被害当事者が本当に求める制度を作るための努力を続けていきたいと思えます。**